

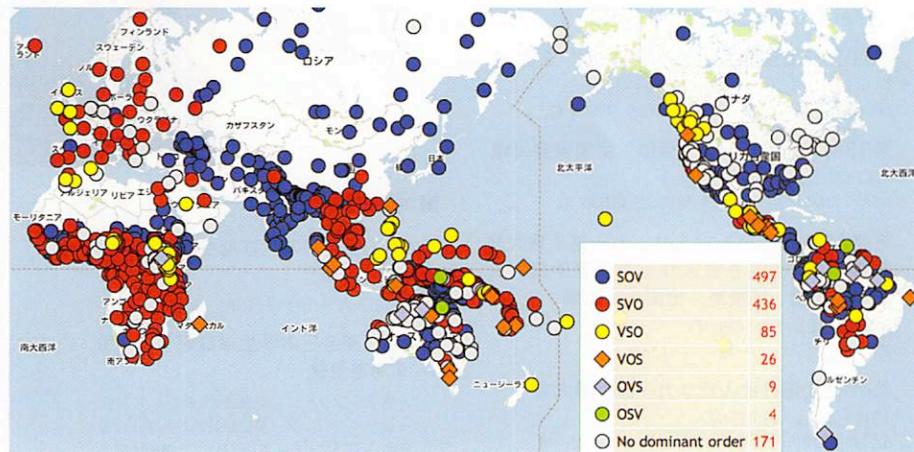
言語の音と文法の相関を探る

時崎 久夫 (外国语学部教授)

大学院から30年、発音と文法の関係を研究してきました。2006年に博士論文を書き上げた後、ふと、世界の言語の語順と音声は関連しているのではないかという考えが浮かびました。例えば、日本語は「魚を食べる」のように目的語・動詞の順ですが、英語は eat fish のように動詞・目的語の順になります。そして、日本語は「す(su)」のように、子音は母音の前に1つだけですが、英語は「ストレッチ(stretch)」のように一つの母音の前後に多くの子音が連なっています。つまり、日本語の1つの音は単純で、英語の1つの音は複雑だと言えます。音が単純なら目的語一動詞、音が複雑なら動詞一目的語、こういう相関があるのでと世界の言語を調べ始めました。最近は、単語の強勢が左か右かなどの音の特徴が語順などの文法を決めているという大きな仮説を立てて、研究に没頭しています。

途方もない研究のようですが、ちょうど2005年ころから言語のデータベースが出版され、日本にいてもある程度のことが調べられるようになりました。『世界言語構造地図』(The World Atlas of Language Structures)という700ページの巨大な本もオンライン化されて無料でアクセスできます。例えば、ここに示す世界の言語の主語(S)・動詞(V)・目的語(O)の語順を表した地図は、カラフルで楽しく、さらにクリックしていくことで言語の特徴について膨大な情報を得ることができます。

実際の研究活動は、地味なものです。本や論文を読んで、調べて、探して借りてコピーして。今はさらにコピーを小型スキャナーで読み取ってファイルとしてノートパソコンにも保存しています。論文のコピーは整理しきれない数なので、あれどこいったつけて探すだけで時間がかかるから、しかも見つからなかったりしますから。とうてい持ち



歩けない量の本や論文をノートパソコンに入れて、キーワードで関連するものを検索して、どこでも読めるというのは、ありがたいことです。

読む、考える、調べる、読む、考える、調べる、を繰り返して、自分の考えを書くという段階に来ます。学会で口頭発表するのがライブ感があつて好きなので、応募するための発表要旨を書くことから始まります。つらくて楽しい時間。何もないところから、自分の考えを浮かび上がらせて、構成して、作り出していく。砂浜でお城を作るような感覚に近いかもしれません。作って壊して、また作って。世界の誰も作ったことのないものを作り喜び。ウンウンとうなって、英語で書き上げたら、メールに添付して主に海外の学会に応募します。時差を計算して、現地での締め切り日の日付が変わる直前(日本の朝8時だったり)まで推敲して、あわわと言しながら送信。ほどなくして「受け付けました」と英語やフランス語で自動返信が返ってきてホッとなります。応募しても採択されない、いわゆるボツになる可能性は学会のレベルによって違うので、良い学会で発表が

認められるとうれしいです。恥ずかしながら、2年あまりの間、応募した国内外の学会に20回ほど連続でボツになったという記録を持っています。年に数回海外で発表できている今は、そこであきらめずに研究を続けてよかったです。みじみ思います。

国際学会へは、心地よい緊張感で出かけます。自分の英語を、世界の学者がうなづきながら聞いてメモを取ったりしているのを見て、はじめは不思議な気持ちがしました。発表後のむずかしい質問に英語で答えるのは頭がまっ白になりますが、エキサイティングな瞬間です。自分にこんなことができるなんて、と感謝せずにいられません。

というわけで、そんな瞬間を楽しみに、世界の片隅かもしれない札幌の街で、ここ西岡で、毎日地味な研究生活を送っています。一日のほとんどをノートパソコン MacBook を見つめて過ごしているので、最大の悩みは肩こりです。こんな毎日ご興味がありましたら、続きは「時崎研究室」ブログ <http://toki.nagomix.net/> で。



Profile

時崎 久夫 Hisao Tokizaki

1959年、千葉県生まれ。北海道大学文学部文学科卒業。北海道大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程修了。
北海道大学大学院文学研究科米文学専攻博士後期課程単位取得満期退学。博士(言語学)。

著書: *Syntactic Structure and Silence* (ひつじ書房 2008年)
論文: "Spell Put before you Merge" Grohmann, Kleanthes K.ed.) *Explorations of Phase Theory*. (2009年)
日本学術振興会科学研究費基盤研究(c)に、「非対称写像に基づく音韻を統法の相関研究」が採択。(2007年~2011年)



札幌大学
札幌大学女子短期大学部

SU Voice

ご意見・ご感想をお寄せください。

〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1
札幌大学運営事業オフィス SUボイス係 TEL 011-852-1181 (代表)
Eメール: koho@ofc.sapporo-u.ac.jp

